

都市整備課 経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	H25 年度計画額（単位：千円）		H25 年度必要人工	
			H25 年度計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	都市計画推進事業	B	2,053	31	0.8	0.2
2	国土調査事業	B	5	0	0.8	0.1
3	土地区画整理事業	A	0	0	0.1	0.0
4	街路整備事業	A	48,480	40,001	0.6	0.1
5	緑化推進事業	B	287	0	0.2	0
6	公園維持管理事業	B	40,097	50	0.7	0
7	町営住宅管理事業	B	2,660	2,660	0.1	0.1
8	住環境整備事業	B	9,000	6,750	0.1	0.1
9	開発・建築事務事業	B	0	0	0.1	0.1
10	公共下水道運営・施設管理事業	B	241,914	165,952	1.3	0.2
11	公共下水道整備事業	A	376,519	239,741	1.4	0
12	農業集落家庭排水事業	B	22,708	12,000	0.7	0.1
13	公園整備事業	B	0	0	0.1	0
合 計			743,723	467,185	7	1

■特記事項

--

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課	No.	1
事業名	都市計画推進事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	3	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	<p>都市計画基礎調査は、都市計画法第6条で都道府県がおおむね5年ごとに国土交通省令第5条（基礎調査の項目）に従い実施することを定められており、また、法13条（都市計画基準）、法21条（都市計画変更）において、都市計画の策定とその実施を適切に遂行するための重要な調査である。</p> <p>このことから愛知県の都市計画基礎調査要綱に基づき本町における都市計画行政の基礎的なデータ整備を進める。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画基礎調査 ・都市計画審議会 ・その他都市計画推進に関する業務 ・生産緑地に関する業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画基本図修正業務 （次回平成27年度予定） ・都市計画マスタープラン （次回平成41、42年度予定） 	
現在における 経過又は課題	<p>大口町における都市の現況と動向を把握し、都市計画だけでなく防災や福祉など様々な分野への利活用を図る。</p>		
平成25年度の 目標又は 改善策	<p>愛知県の都市計画基礎調査要綱に基づき本町における都市計画行政の基礎的なデータ整備を実施する。</p> <p>平成25年度は、土地利用現況（土地利用別面積）を調査する。</p> <p>※人口及び世帯規模（H23） 建物利用現況（H24） 地区別新築状況（H24）</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4 ～3	都市計画基礎調査業務 ・土地利用状況 ※通勤通学移動（県） 公共公益施設及び大規模小売店舗の立地状況（県）

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	1,413	3,816	2,053
(内特定財源)		千円	80	31	31
人工	職員	人工	0.8	0.8	0.8
	臨時職員	人工	0.2	0.2	0.2
	計	人工	1.0	1.0	1.0

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
土木関係証明手数料	1	
図面、用紙等売払収入	30	
合計	31	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

H26 都市計画基礎調査

- ・公共交通の運行状況
- ・宅地開発状況
- ・市街化調整区域内開発状況

■ 目標又は改善策に対する取組内容

都市計画行政の基礎的なデータ整備を目的として、都市計画基礎調査（土地利用現況）を実施した。

■ 評価

市街化区域内の農地や住宅用地、工業用地など、土地利用の現況（土地利用別面積）を把握することができた。この結果は、都市計画マスタープランの見直しや、都市計画の決定・変更の検討を行う際の基礎資料とする。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課	No.	2
事業名	国土調査事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	3	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	<p>地籍調査を行うことで、町民及び公共の財産の保全並びに土地に関する基礎資料を整え、土地の明確化を図る。</p> <p>※「地籍調査」とは、国土調査法に基づき一筆毎の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果を地図及び簿冊に作成し、作成された「地籍図」と「地籍簿」の写しを登記所に送付し、登記所において地籍簿を基に土地登記簿が書き改められ、地籍図が不動産登記法第14条第1項の地図として備え付けられることにより、町民及び公共の財産の保全はもとより、土地に関する基礎資料を整えるものである。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地籍調査事業（城屋敷一丁目地区） ・ ・ ・ ・ 		
現在における経過又は課題	<p>平成23年度に地籍調査事業H工程まで終了。平成24年度に地区内調整を終え、認証請求及び承認申請手続きに着手した。</p>		
平成25年度の目標又は改善策	<p>平成25年6月を目標に、城屋敷一丁目地内の字区域及び名称地番を変更できるよう、地籍調査成果の認証に基づく登記所への送付事務を進める。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4~	城屋敷一丁目地区 平成24年度に引き続き、地籍調査の認証請求及び認証に基づく登記所への送付事務を実施する。

□3年間の目標

目標	・ ・					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	城屋敷一丁目地区の事業完了により、町内未調査地区については、中小口の一部及び河北の一部地区を残すのみである。
H27 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	4,436	5	5
(内特定財源)		千円	1,860	0	0
人工	職員	人工	0.8	0.8	0.8
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.1
	計	人工	0.9	0.9	0.9

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

地籍調査事業（城屋敷一丁目）の愛知県認証及び、法務局への成果送付事務と、字区域及び名称地番変更に向けた準備を、関係機関（国土交通省、愛知県、法務局等）と協議・調整の上実施した。

■ 評価

地籍調査事業（城屋敷一丁目）が完了したことにより、大口町における国土調査は、町全域の約 90%（12.32 km²）が終了。残す地域についても、地域の状況・条件が整い次第、順次、地籍調査事業を進める。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課	No.	4
事業名	街路整備事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	3	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	<p>国道41号や国道155号（北尾張中央道）といった広域幹線道路へのアクセスを強化し、集落内の通過交通を排除し、町内の円滑な道路交通ネットワークを実現するために都市計画道路愛岐南北線や小口線、江南大口線等の整備を推進する。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路小口線並びに役場前線等に関する道路整備に係る事業 ・都市計画道路愛岐南北線、江南大口線等の用地取得事務 		
現在における経過又は課題	<p>都市計画道路小口線並びに役場前線については、平成13年5月15日に都市計画変更がされ、現在の未整備区間が、小口線＝918m（県道小口岩倉線～町道大口桃花台線）、役場前線＝276m（役場以東～小口線との交差点）あります。この路線の早期供用に向け、整備手法並びに財源計画を検討する必要があると考えます。</p> <p>また、この路線の早期整備に向け、五条川右岸（小口線の県道小口岩倉～樋田橋間（480m）＋役場前線（280m））を先行して着手して行きます。</p>		
平成25年度の目標又は改善策	<p>地元地権者等への理解を図り、用地の確保に努める。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
～ 3	H25・・・用地交渉 税務署事前協議 契約 前払金の支払 繰越し手続き 登記、土地の引渡し 完了払い

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・この道路の必要性を地権者等にご理解していただき、事業に係る用地についての同意を得る。 ・道路整備工事の実施設計 					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標
用地取得（パーセント）	—	—	30	30	30	10
実施設計					実施	

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉 ・実施設計、地質調査（取得用地部）
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・用地交渉 ・工事

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	8,730	86,086	48,480
(内特定財源)		千円	0	1	40,001
人工	職員	人工	0.6	0.6	0.6
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.1
	計	人工	0.7	0.7	0.7

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	1	
小口線整備事業債	40,000	
合計	40,001	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
物件調査	0	△3,600	用地取得に係る経費(業務完了)
用地鑑定評価	0	△481	用地取得に係る経費(業務完了)
道路用地購入費	40,000	△40,000	用地取得に係る経費
物件補償	6,500	6,500	用地取得に係る経費

■特記事項

総事業費として、537,000千円を見込む。

H24・・・用地鑑定評価、用地交渉及び登記、物件・地質調査業務

H25・・・用地交渉及び登記、地質調査（取得済用地部）

H26・・・用地交渉及び登記、実施（詳細）設計

小計 233,000千円…①

H27～31・・・工事

小計 304,000千円…②

①+② 537,000千円

■目標又は改善策に対する取組内容

町道役場前線の整備計画を作成するのに必要となる地盤の浸透能力を評価するための現地浸透試験を行った。

現地と地籍測量図と相違があった土地の境界立会いを行った。

一部地権者と用地及び物件補償契約を締結した。

■評価

今後の工事詳細設計において、雨水浸透阻害行為の検討に必要な基礎資料となる現地浸透試験により得られた飽和透水係数を把握できた。

用地取得に向けた、土地境界の確定ができた。

公共用地交渉を行って、一部地権者と締結した用地売買契約に基づき、分筆登記、所有権登記名義人表示変更、所有権移転登記を進めた。更に地元地権者等の方々に対し、この道路整備に係ることについて理解を図り、用地買収を進めていく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	都市整備課	No.	5
事業名	緑化推進事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する。
	小分類	3	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	緑豊かな生活環境、秩序ある生活環境を維持するために、緑地の保全、景観の適正管理を行う。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑地保全地区、保存樹木を健全に保全するよう交付金を交付 ・ みどりの少年団の育成補助 ・ ・ 		
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒートアイランド現象対策における、樹木の恩恵意識をもっと、住民に高めてもらう。 		
平成 25 年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあいまつりに、苗木を配布し緑化意識を高めてもらう。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	緑の募金期間（4月1日～5月31日）
9	緑の募金期間（9月1日～10月31日）
11	ふれあい祭り苗木配布事業
2	保全地区、保存樹木の確認および交付金の交付 みどりの募金事業

□3年間の目標

目標	・ ・						
	項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	・ ・
H27 年度	・ ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	317	317	287
(内特定財源)		千円			
人工	職員	人工	0.2	0.2	0.1
	臨時職員	人工			
	計	人工	0.2	0.2	0.1

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

苗木配布については、住民がどのような樹木に関心があるかを、検討し育てやすい人気のある樹種を選んだ。また配布する樹木の特徴等についても研究した。

■ 評価

ブルーベリー、オリーブの苗木は人気が高く住民に喜ばれた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	都市整備課	No.	6
事業名	公園維持管理事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力
	小分類	3	自然と共生した地域社会づくり、良好な生活環境の確保
目的	住民の憩いの場所として、清潔な公園をめざす。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化した施設の修繕 ・ 草刈り、樹木の維持管理 ・ 遊具の安全点検 ・ 		
現在における 経過又は課題	<p>樹木がかなりの成長をみせ、毎年こまめな剪定が必要になってきている。</p> <p>遊具の老朽化が目立ち、安全の確保、適正な安全点検が必要になってきている。</p> <p>また、児童遊園については、行政区へ安全点検等を依頼してあるため、危険な遊具について更新要望が町にあり、順次対応していかなければならない。</p>		
平成 25 年度 の目標又は 改善策	<p>地域住民の活動の場となり、住民が愛着をもって、維持管理をしていこうとする声をよく耳にする。行政が全面にでて管理をするのではなく、住民の暮らしの活動の場として、管理を行政区に移行できたらと考えている。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
5	樹木消毒、除草作業、低木剪定、遊具保守点検
7	樹木消毒
10	除草作業、低木剪定、遊具保守点検
11	樹木剪定

□3年間の目標

目標	.					
	.					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	.
H27 年度	.

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	38,689	39,679	40,097
(内特定財源)		千円	50	50	50
人工	職員	人工	0.7	0.7	0.7
	臨時職員	人工	0.0	0.0	0.0
	計	人工	0.7	0.7	0.7

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	50	
合計	50	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
新	トイレ撤去工事	99	99	北の山児童遊園トイレ撤去
新	ネットフェンス修繕工事	2,570	2,570	外坪公園ネットフェンス修繕
新	堀尾堀及び水車修繕	1,334	1,334	堀尾跡公園、堀尾堀及び水車修繕
新	バスケットゴール撤去工事	215	215	さつきヶ丘児童遊園バスケットゴール撤去
新	滑り台撤去新設工事	831	831	滑り台撤去設置、遊具塗装

■特記事項

■目標又は改善策に対する取組内容

替地の夢キャン友の会、中小口の中小口倶楽部等、利用者が利用者の手で維持管理していく意識が住民により高まり、竹橋公園、(仮)替地公園の草刈等を地元自治会に委託することができた。
児童遊園等、遊具の老朽化が進む中、遊具の更新8年計画を立て、子供たちが安心安全に遊べるよう努力した。

■評価

公園を清潔に保つことにより、利用者も増え、地域の活動(グランドゴルフ同好会、夏祭り等)の活動の場となった。
また、児童遊園の滑り台を更新したことによって、地元の人に喜ばれた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課	No.	7
事業名	町営住宅管理事業		
総合計画の 体系	大分類	3	健康で安心な暮らしと災害や犯罪などに強い社会を創造する
	小分類	1	誰もが自立した生活が送れるよう健康長寿・生涯現役社会の構築
目的	町内の住宅に困窮する低額所得者に対して低廉の家賃で賃貸することにより、町民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町営住宅運営管理業務 ・ 町営住宅維持管理業務 ・ ・ 		
現在における 経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町営住宅に入居できずにいる者との公平性確保するため高額者等に対する措置を実施、高額得者明渡事務処理要領に基づき高額所得者明渡しを行う。 収入未申告者に対する収入調査の実施し、高額所得者又は収入超過者に該当した場合には適切に認定する。 ・ 入居者への安全・安心を確保するため、住宅の維持管理に努めながら、老朽化の激しい植松住宅及び小口住宅A・B棟について、今後の運営方針等を検討していく必要がある。 		
平成 25 年度 の目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高額所得者認定者に対して面談、相談を実施する。 ・ 入居者の生活を営むに足る住宅であるように維持管理に努める。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
～ 3	町営住宅管理業務 運営管理 毎月・・・納付書発送、督促状催告書発送 10月・・・家賃決定 維持管理 5月・・・受水槽清掃 6月・・・消防設備（消火器）点検 7月・・・簡易専用水道検査 10月・・・消防設備（消火器）点検

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・耐用年数平成29年度となる老朽住宅の今後の方針を決定する。 ・ 					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽住宅入居者に対して今後の方針等説明会を開催 ・
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽住宅入所者との面談、相談窓口の開設 ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	2,177	2,310	2,660
(内特定財源)		千円	2,177	2,310	2,660
人工	職員	人工	0.1	0.1	0.1
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.1
	計	人工	0.2	0.2	0.2

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
行政財産目的外使用料	15	町営住宅管理事業
町営住宅使用料	2,645	職員給与費 町営住宅管理事業
町営住宅使用料滞納繰越分	0	
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
11	修繕料	2,390	400	高架水槽制御盤内修繕

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

高額所得者に対し、面談・相談を実施し、高額所得者認定者及び入居者に住宅に困窮する低額所得者に対して低廉の家賃で賃貸する住宅であることの周知に努めた。

植松住宅C・D・E棟については用途廃止をして行くこととした。

■ 評価

高額所得者明渡事務処理要領に基づき、高額所得者に面談をすることにより、適切な住宅運営をすることができた。

植松住宅の用途廃止に向けて、退去による空家の確保2戸（入居準備修繕1戸）など移転に向けた準備をした。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課	No.	8
事業名	住環境整備事業		
総合計画の 体系	大分類	3	健康で安心な暮らしと災害や犯罪などに強い社会を創造する
	小分類	2	災害に強い地域社会の形成
目的	南海トラフ巨大地震の被害予測が発表され、被害想定がさらに変更された。地震による建築物の倒壊等の被害から住民の生命、身体及び財産を保護するため、旧基準（昭和56年5月31日以前）で建築された木造住宅の耐震改修の促進を行うことで、地震に対する安全性の向上を図り、災害に強い地域社会の形成を目的とする。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間木造住宅耐震改修促進業務 ・ ・ ・ 		
現在における 経過又は課題	<p>無料耐震診断時に家具転倒防止の取り組みを促進した。</p> <p>これまで無料診断を受け、改修に至らないところについて耐震化促進DMを送付する。</p>		
平成25年度の 目標又は 改善策	<p>「大口町耐震改修促進計画後期実施計画」に基づき、平成32年度末に耐震化率95パーセントを目指すため、住宅の耐震化・減災化の促進を図るため、比較的安価な費用で改修可能な段階的耐震改修補助を実施する。</p> <p>重点地区内及び地震時に通行を確保すべき道路沿いの住宅所有者の方に、個別に耐震化促進についてのPRを行う。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
～ 3	4月 広報チラシ配布 耐震診断・改修工事受付
	6月 過去耐震診断リストによる改修工事の啓発PR

□3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・平成32年度末までに耐震化率95パーセントを目指す。 ・ 					
項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標
耐震改修工事棟数	3	5	4	10	10	10

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・前年実績及び該当者の問い合わせ等を考慮しながら、目標件数の見直しを行う。 ・
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・前年実績及び該当者の問い合わせ等を考慮しながら、目標件数の見直しを行う。 ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	8,505	10,800	9,000
(内特定財源)		千円	5,377	8,100	6,750
人工	職員	人工	0.1	0.1	0.1
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.1
	計	人工	0.2	0.2	0.2

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
住宅・建築物安全ストック形成事業 (国費)	4,500	住環境整備事業
住宅・建築物安全ストック形成事業 (県費)	2,250	住環境整備事業
合計	6,750	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
6	民間木造住宅耐震改修費	7,200	△1,800	予定改修件数見込みの減 10 戸→8 戸

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

診断評価方法が大きく変化する以前である平成15年度～平成17年度の診断者に対して、ダイレクトメールにより再度の診断を促した。

耐震診断者に対して新たな耐震改修工法や、ホームページによる耐震改修に向けての案内をしました。

耐震促進計画が見直しされ、減災化の促進がすることで評点の低い住宅の全壊を防ぐことができる木造住宅段階的耐震改修の補助を新設。

また、これまでの木造住宅耐震改修補助に対して30万円の上乗せを実施。

重点地区内及び地震時に通行を確保すべき道路沿いの住宅については、促進法の改正により義務化対象住宅の調査を実施し、確認をした。

■ 評価

以前の診断者に対してDMにより10戸の再診断を行い、その内1戸が耐震改修を実施した。

また、再診断により耐震対策に対する関心が高まり取り壊し等、その後所有者の旧基準木造住宅の対策に役立っている。

上乗せ補助を実施し、前年度より2戸増のH25年度6戸の木造住宅耐震改修補助をした。

南海トラフ巨大地震の被害想定公表がされた為、町内の主要道路による避難路沿道の旧基準木造住宅の状況確認をした。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課	No.	9
事業名	開発・建築事務事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	3	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	秩序ある町の発展を期するため、関係法令に定めるものもほか、住宅地等の開発について一定基準を定めた大口町宅地開発等に関する指導要綱などにに基づき良好な生活環境の整備を図るための事務手続き等を行う。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発・建築に係る相談窓口であり下記申請等の受付事務処理を行う。 ・ 大口町宅地開発等に関する指導要綱に基づく指導 ・ 建築確認申請の受付 ・ 建築・開発許可の受付 ・ 特定施設整備計画届出の受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設リサイクル法に基づく届出 	
現在における経過又は課題	/		
平成 25 年度の目標又は改善策	/		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容

□3年間の目標

項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	
H27 年度	

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	0	0	0
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工	0.1	0.1	0.1
	臨時職員	人工	0.1	0.1	0.1
	計	人工	0.2	0.2	0.2

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課	No.	(10)
事業名	公共下水道運営・施設管理事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	公衆衛生の向上に寄与し、併せて公共用水域の水質の保全に資するために、下水道の円滑な運営を行うため、整備した下水道の有効利用並びに適切な維持管理を行う。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・管路維持管理 ・使用料徴収 ・ ・ <ul style="list-style-type: none"> ・地方公営企業決算状況調査作成 ・消費税申告 ・説明会の開催 ・ 		
現在における経過又は課題	<p>平成26年4月1日現在の大口町における下水道普及率は、82.4%、水洗化率は、75.1%であり、それぞれの数値を向上させる必要があり、特に水洗化については、広報PR、ダイレクトメール並びに個別訪問により、未接続者への理解を求めていく必要がある。</p> <p>五条川左岸流域下水道は昭和63年度から整備が始まっており、施設(管渠)の老朽化が進み不明水が多いのが現状である。このことから、長寿命化計画の策定が急がれるところではあるが、農業集落排水施設の公共下水道化を検討していることから、この結論後に、目標年度を明確し実施していく。</p> <p>また、災害時対応マニュアルとして、下水道BCP(business continuity plan 事業継続計画)を愛知県及び流域市町と協調して作成し、災害発生時に対応すべきことを把握、更には、近年移行が考えられる「公営企業会計」について全庁の財務会計システムとの連携も含めて考えていく必要がある。</p>		
平成25年度の目標又は改善策	水洗化率の向上のため、未接続者へ啓蒙文書の郵送及び個別訪問を実施し、数値目標を達成させる。		

■作業工程(当該年度)

月	作業内容
6	地方公営企業決算状況調査作成
9	消費税申告
奇数月	偶数月 1 日に使用料請求を行うためのデータ入力
毎月	特定事業所からの排水の水質検査

□3年間の目標

項目(単位)	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標
未接続者数(戸) ただし平成21年度以前供 用開始地区		1,099	1,040	980	930	880

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	・
H27 年度	・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	214,142	229,971	241,914
(内特定財源)		千円	181,279	152,376	165,952
人工	職員	人工	1.4	1.4	1.3
	臨時職員	人工	0.2	0.5	0.2
	計	人工	1.6	1.6	1.5

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位:千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
下水道使用料	165,802	維持管理事業
汚水処理委託料	150	
合計	165,952	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位:千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
13	下水道管路調査委託料	5,025	1,560	前年度整備延長による増減
13	下水道台帳作成業務委託料	4,043	1,512	前年度整備延長による増減
19	負担金(流域下水道維持管理)	213,100	12,200	排水量の増見込みによる
19	負担金(下水道使用料システム改修)	368	368	消費税対策システム委託料

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

未接続世帯に戸別訪問を行い、接続を促した。

■ 評価

未接続戸数の削減は、目標 980 戸に対し実績 872 戸となり、達成することができた。
今後については、引き続き、未接続世帯に戸別訪問を行うとともに、目標数値設定の仕方についての見直しを行う。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課	No.	(11)
事業名	公共下水道整備事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
目的	公衆衛生の向上に寄与し、併せて公共用水域の水質の保全に資するために、計画的な下水道の整備を行う。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大口右岸第5処理分区污水枝線築造工事（上小口一丁目・河北二丁目） ・下水道整備後の道路舗装本復旧工事 ・污水公共ます等設置工事 ・五条川左・右岸流域下水道建設事業負担金 		
現在における経過又は課題	<p>下水道の利用区域拡大に向け、整備を実施している一方で、整備後の道路舗装復旧工事が遅れているのが現状である。</p> <p>本年度において市街化区域の整備をほぼ終えることから、今後の下水道区域の拡大については、舗装復旧工事を計画的に実施(H26～H28)した上で、着手する必要がある。また、集中的に舗装復旧工事を行うことから、財源を確保する必要がある。</p>		
平成25年度の目標又は改善策	<p>「大口町における水環境改善の推進計画(H22～H25)」 計画目標 下水道処理人口普及率 「72%→80%」</p> <p>上小口一丁目・河北二丁目地区の下水道整備を実施し、下水道普及率の向上に努め、計画目標を達成させる。</p>		

■作業工程(当該年度)

月	作業内容
6	大口右岸第5処理分区污水枝線築造工事 污水枝線築造工事早期発注(国庫・町単)
9	污水枝線築造工事発注(国庫・町単)
3	工事完了

□3年間の目標

目標	本年度が、「大口町における水環境改善の推進計画(H22～H25)」の最終年度であることから、新たな下水道整備計画を策定する必要があるが、区域拡大については、道路舗装本復旧工事計画(H26～H28)との調整をとりながら計画策定を実施する。 (単位:ha、人、%)
----	---

年月日 現在	右岸		左岸		合計			行政人口
	整備面積	整備人口	整備面積	整備人口	整備面積	整備人口	普及率	
22. 4. 1実績	186.2	10,218	276.9	5,789	463.1	16,007	72.4	22,108
23. 4. 1実績	16.3	370	0	8	479.4	16,385	74.1	22,126
24. 4. 1実績	15.6	337	0	25	495.0	16,747	75.3	22,229
25. 4. 1実績	20.0	1,423	0	263	515.0	18,433	80.8	22,811
26. 4. 1計画	24. 8	700	0	25	539.8	19,158	83.7	22,900
合計	262.9	13,048	276.9	6,110	539.8	19,158	83.7	

(単位:千円)

項目(単位)	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標
現況測量調査及び実施設計委託	65,174	22,901	0	0	0	27,400
下水建設工事	205,869	149,852	306,133	302,060	210,750	118,500

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26年度	・舗装本復旧工事:大屋敷・余野・下小口・中小口・上小口三丁目地区 (平成10年～平成23年度工事地区)
H27年度	・舗装本復旧工事:上小口一丁目・河北(平成24年度工事地区)・左岸・特環地区 ・測量設計業務:右岸第2処理分区;竹田地区
H28年度	・舗装本復旧工事:上小口一丁目・河北地区(平成25年度工事地区) ・下水道面整備工事(右岸第2処理分区;竹田地区) ・測量設計業務:右岸第1処理分区;竹田地区

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	215,432	387,614	376,519
(内特定財源)		千円	175,888	236,001	239,741
人工	職員	人工	1.5	1.5	1.4
	臨時職員	人工	0	0	0
	計	人工	1.5	1.5	1.4

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位:千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
下水道事業受益者負担金	43,640	報償費, 工事請負費
公共下水道補助金	82,000	工事請負費
受益者負担金延滞金	1	工事請負費
下水道事業債	114,100	工事請負費
合計	239,741	

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位:千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容
15	工事請負(管路)	302,060	▲4,073	河北・上小口地区の事業量による
19	負担金(流域下水道建設)	8,892	▲4,022	県の建設事業量の減による
19	負担金(水道管移設)	37,000	▲3,000	河北・上小口地区の事業量による

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

「大口町における水環境改善の推進計画(H22～H25)」
計画目標 下水道処理人口普及率 「72%→80%」

の目標を達成させるため、上小ロー丁目及び河北二丁目地区の下水道整備を実施した。

■評価

「大口町における水環境改善の推進計画(H22～H25)」
計画目標 下水道処理人口普及率 「72%→80%」

に対し、**82.4%(平成26年4月1日現在)**で、普及率を向上させ、目標を達成できた。

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26	・農業集落家庭排水事業(農林水産省)と公共下水道事業(国土交通省)との所管官庁が異なることから、手続きに係るスケジュール調整並びに必要な書類の準備を行い、関係機関との協議を行う。
H27	・関係機関との協議を行う

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円	21,670	29,266	22,708
(内特定財源)		千円	12,907	12,002	12,000
人工	職員	人工		0.7	0.7
	臨時職員	人工		0.1	0.1
	計	人工		0.8	0.8

■平成 25 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位:千円)

事業番号	節	科目名称	計画額(増減額)	増減理由
2	11	需用費	7,745(2,700)	修繕内容(更新設備)の見直しによる
	15	工事請負費	0(▲9,296)	工事内容(更新設備)の見直しによる
合 計			7,745(▲6,596)	

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位:千円)

特定財源名称	金額	備考
使用料	11,998	
分担金	1	
分担金督促手数料	1	
合 計	12,000	

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

公共下水道への切り替えのため、関係機関との調整を行い、事前手続きを開始した。

■ 評価

破損部品、機能低下装置の交換等を行い適正な汚水処理を行った。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	都市整備課	No.	13
事業名	公園整備事業		
総合計画の 体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力
	小分類	3	自然と共生した地域社会づくり、良好な生活環境の確保
目的	都市計画マスタープランに基づき、住民のニーズに応えるような公園の整備		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余野1号公園整備の再検討 ・ 替地公園の整備 ・ ・ 		
現在における 経過又は課題	余野1号公園は、周辺は治安が悪い等、人が集まる場所には適していないとの意見があり、多目的広場にする等、再検討が必要である。		
平成25年度 の目標又は 改善策	替地公園における、調整池詳細設計（建設農政課）		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容

□3年間の目標

項目（単位）	H23 計画	H23 実績	H24 計画	H25 目標	H26 目標	H27 目標
替地公園整備事業					詳細設計 意見交換会	

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 替地公園における調整池工事 ・ 替地公園、意見交換会、詳細設計
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 替地公園整備工事 ・

■事業コスト

		単位	H23 年度決算額	H24 年度当初予算額	H25 年度計画額
事業費		千円			
(内特定財源)		千円			
人工	職員	人工			
	臨時職員	人工			
	計	人工			

■平成 25 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
合計		

■平成 25 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

種別	項目(科目等)	計画額	増減額	内容

■特記事項

--

■ 目標又は改善策に対する取組内容

余野1号公園の整備に当たっては、近隣居住者との意見交換会も無く、余野区の住民にとっては暫く空き地だという認識を植え付けた形になった。

■ 評価

余野1号公園については、町の能動的な動き出来ず評価は低い。
（仮）替地公園については、建設農政課と地元との意見交換会により問題点が洗い出しできた。